



【発行元】全国大学生協連関西北陸ブロック

開催概要

日程：2019年7月6日(土)～7日(日)

場所：大山乳業農業協同組合、美歎牧場、鳥取県畜産農業協同組合
みたに

獲得目標

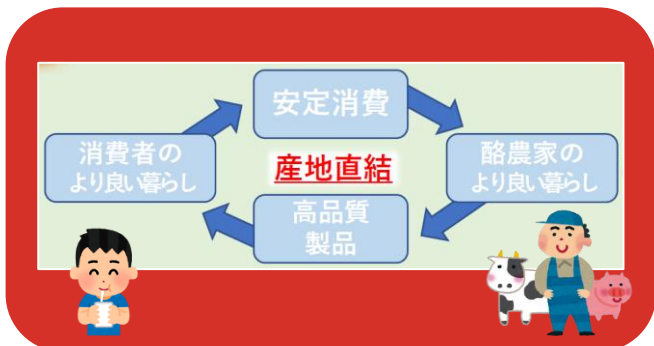
- ・生協牛乳を通じて45年の歴史を歩んできた鳥取と生協との歴史を知る。先人の想いを知る。
- ・工場見学や生産者と交流することで、生産者の工夫や努力、こだわりを知る。
- ・研修で学んだことを力に、10月の大山フェアへの協力など、産直活動に取り組む。
- ・「食」や「農」などへの関心を深め、自分自身の借生活を見直す。社会的な関心を持つ。

参加者（カッコ内は人数）

富山大(2)、福井大(5)、同志社(2)、京府医大(3)、龍大(5)
京教(5)、京都工繊(4)、経短(6)、奈良女(2)、奈良(4)、
滋慶(1)、大教(1)、大市(4)、阪大(5)、電通(1)、樟蔭(5)、
神外(6)、親和(6)、神戸高専(5)、園田(1)

職員も6名
参加しました！

計20会員73名



XX 大学生協と大山乳業の つながり

産地直結の関係

大山乳業は消費者との交流を大切にしており、製品のこだわりを直接伝えています。一方で消費者である大学生協も大山乳業の生産者との交流を大切にしており、自分たちの目で安全・安心な商品であることを確かめています。

この関係を「産地直結」といいます。大山訪問研修では産地に訪問して工場見学や生産者との交流を通して安心安全な牛乳であることを確かめています。

00 訪問する前に 知っておこう！

訪問研修での学びを事前にイメージ

事前学習会を京都と大阪で行いました。大学生協が大山乳業の商品を扱っている理由や、産地直結の意味、消費者としての視点などを事前に学習し、当日生産者に直接聞きたい質問を考えました。そうすることで当日の活発な議論に繋がります！

またホンモノの牛乳の飲み比べを行い、殺菌温度の違い、牛乳と加工乳・乳飲料の違いを体で感じました！



大山乳業の職員さんにもお越しいただき、楽しく学習しました！

01 大学生協牛乳は ここで作られている！

大山乳業で生産者と交流&工場見学

大学生協牛乳をつくらしている大山乳業の工場見学を行い、安全で安心できる環境で作られていることを、自分たちの目で確かめてきました。

また大山乳業の方との交流会では、生産者の牛乳に対するこだわりや、大切にしていることを聞きました。いつも飲んでいる大学生協牛乳がよりおいしく感じますね♪



参加者からも積極的に質問が出て、盛り上がりました☆

02 鳥取県畜産農協で 牛の一生を考える

オスや乳が出なくなった牛はどうなるの？

オス牛やお乳が出なくなった牛は食用のお肉になります。
そのため牛乳だけでなく、併せてお肉も生産・消費することで牛をいただくことになり、生産と消費のサイクルが回ります。

大山乳業の組合員がほとんど加入している鳥取県畜産農業協同組合（鳥畜）は、そんな牛たちを加工し食用のお肉にしています。私たちは消費者として牛の一生を知り考えるべく鳥畜を訪れました。

1日目の夜はCOOP牛乳産直のふるさとである「美敷牧場」で、実際に酪農業に携わっている方のお話を聞き、普段触れることのない生産者の考えや思いを知ることができました。

2日目は鳥取県畜産農業協同組合の本所で、実際に肉牛を解体している工場見学を行いました。昨日BBQでおいしくいただいた牛肉が、どのように加工されているのかわかりました。

鳥畜での生産者との交流を通じて、命をいただく尊さ、ありがたさを改めて実感しました。



1日目の夜は生産者と交流しながらBBQ！牛の命を感じながら、大切に味わいます。



2日目は鳥畜について学習！また班ごとに生産者と直接交流しました♪

03 組合員を代表して 学んで帰ってきました！

今回73名の学生委員や職員は大学生協の組合員を代表して、大学生協牛乳や商品のこだわりや、安全安心であること、消費者としてどのように生産者とかわかっていくかなど、様々なことを学んできました。

生産者との交流で「産地直結」を肌で感じる事が出来ました。今回学んだことを多くの組合員に広めて、こだわりを伝える活動に努めたいと思います！（福井大 職員）

10の大山フェアでは、商品を売るだけでなく、それを通して命のありがたさや大山乳業の方々の思いを知ってもらえる取り組みをしたいと思います！（大阪樟蔭 1年）

大山乳業と生協のつながりや、安全・安心な食へのこだわりを知ることができ、消費者としても大学生協の組合員としても貴重な体験をすることができました。（京教 1年）

+A セミナーを終えて

京滋・奈良地域で続けてきた大山訪問研修は、参加対象地域が北は富山から南は和歌山、西は兵庫までの関西北陸ブロックとなり、バス2台90名規模の研修となって今回が3回目。参加生協と参加者が増えるなかで「鳥取大好き」「大山乳業大好き」人もまた増えてきたように思います。
「大好き」を力に牛乳と乳製品をこれからも広めていきましょう。そして「食」や「農」に関心を持つ組合員が広がってくれば、SDGsにも繋がっていくと、願う次第です。（ブロック職員 小林）



10月の大山フェアで学んできたことを他の組合員に伝えよう！



関西北陸ブロック学生事務局
[堀部七彩]

